

堀内議員 報告どおり3点質問させていただきます。まず公正・公平な住民サービスと財源確保にむけて。人口減少にあたり、税収も下がる中、全国的にも社会保障費の増加など、行政サービス水準の低下が危ぶまれています。今こそ住民へ公平・公正なサービスを行うための財源確保や見直しが必要であると考えます。もちろん、すぐに人口増加や企業誘致などの夢物語ではなく、交流人口増加に大きな効果を生み出している出羽島アート展等で経済効果が出る対策を商工会と具体的に相談すべきです。同時に町内企業の成長につながる話し合いなどは行えているのでしょうか。また、長年問題となっている町営住宅使用料金未収についても、平成26年度に入るとマイナス4.7%も徴収率が下がり未収額も前年に比較し、840千円増加との報告も受けています。平成25年度までは担当職員の努力もあり、増加傾向にあったはずですが、減少要因は何でしょう。現在、阿南高専と共同開発中の天体望遠鏡においても、「口径30cm、重量20kg以下、価格200千円前後」を目標に設定していると報道されていますが、市場では「株式会社ケンコー・トキナー」製造の「NEWスカイエクスプローラーSE300D」等、「30cm高精度放物面鏡のものがネットでは150千円前後、望遠鏡販売店での実販価格は120千円ほどという価格設定と聞きますが、市場調査や価格調査はどのような基準で行われているのでしょうか。新しいイベントや事業が行われ、少しずつ賑わいを取り戻しつつある牟岐町ですが、既存の問題や進行中の事業において、「監視」「改善」を強化する必要を感じます。改めてPDCAをふまえた事業活動のサイクルを整理していただきたい。続きまして、防災・減災の意識強化と津波避難先の現況確認・整備を。避難先を何箇所か見て回ったところ、雑草で街灯が隠れたりしている箇所が見られます。防災、減災の意識を高めるためにも、各町内会や団体と連携し、状況確認、整備を進める他、「スポーツGOMI拾い連盟」や「グリーンバード」等、外部団体と協力した交流人口の増える新しいイベントを検討してはどうでしょうか。続きまして、おひさまスクールに対するアンケート結果の内容について。おひさまスクールについてのアンケート結果が出ているはずですが、それらを踏まえた今後の展開を具体的に教えていただきたい。以上、3

点お願いします。

杣富議長 福井町長。

福井町長 堀内議員のご質問にお答えします。まず、公平な住民サービスの提供と財源確保についてのご質問ですが、先の森議員のご質問にもお答えしましたように、牟岐町は、町村合併をしていないことから、財政的に厳しく、職員数も極限まで減らしていると考えています。そのような中、病院用地造成関連工事、出羽島重伝建の選定、地方創生戦略計画の策定業務等を行っていますので、現時点では、新たな業務を増やしていく状況にあるということをご理解いただいた上で、お答えします。まず、出羽島アート展での商工会との相談ですが、これまでも商工会とは、何度か協議をしてまいりましたが、イベントを開催するだけでなく、できるだけお金を落としていただけるよう、つまり、経済効果の上がるよう、開催にあたり、商店の経営者を始め関係者の方々と事前に十分協議すべきだとの共通認識はあると思っています。その一つの成果として、第2回目からは、大生丸の乗船整理券を発行し、待ち時間を利用して町内店舗を廻っていただくようになったところです。私は、基本的にイベント開催は、観光地等で、いつも町外のお客さんの受入態勢ができている所では、来客に比例して効果が上がると思いますが、現在の牟岐町のように特産品もほとんどなく、物産館もなく、観光客を対象とした店舗が少ない状況では、効果は限定的だと考えています。したがって、現在は、イベントをしなくても交流人口が増え経済効果があがる。人も予算もあまりかからない施策が重要と考えており、例えば、出羽島の重伝建であるとか、あるいは、海部病院の移転改築にも大きな期待をかけているところです。また、町内企業の成長につながる話し合いですが、平成25年に牟岐町再生会議において、商工会やJA、JF、町内の各種経営者等との交流を期待いたしましたが、うまくいっていません。また、町内大企業の方にも、こちらから出向き相談しましたが、若者住居の設置を求められただけで、特にご要望も伺えませんでした。したがって、これまでの経験

から、E G、エコノミックガーデニングにより、企業支援ができる取り組みや
枠組みを、この地方創生戦略計画の中で形作りたいと考えていますし、現在、
進めている戦略計画の策定の中で、企業からのご意見も伺っていますので、こ
れを施策に反映できればと考えています。結局は、意欲のある町民の皆さまか
ら、自分達もこのように動くから行政は、このように動いて欲しいとの申し出
がないと、行政が主導では、うまくかみ合わないと思います。また、阿南高専
との連携事業は、安くて高性能の天体望遠鏡を牟岐町で作り、メイドイン牟岐
で販売する、牟岐町の産業にするという構想・計画でスタートしています。ま
た、牟岐町は、日本有数の天体観測適地であるということもあり、事業開始当
時は、牟岐町で積極的に事業に関わりたいという方もおいでまして、進めてい
ましたけど、その方が亡くなられたため、事業進捗も遅れ、次第に牟岐町との
係わりが薄くなっています。しかしながら、この望遠鏡は、先日もアスティで
開催された徳島チャレンジメッセに出品し、徳島県全体での取り組みとして動
きかけているようです。今後、牟岐町での事業として実施するためには望遠鏡
の製作に意欲を持たれる方を見つける必要があります。現在、少し興味を持た
れている方がいますので、阿南高専とも協議を進めてまいりたいと考えていま
す。つぎに防災意識の高揚と活性化にもつながる防災イベントを開催してはと
のご意見ですが、のちに詳細は総務課長からご説明いたしますが、平成23年
の東日本大震災以降、これまでに町内自主防災組織や徳島県、鳴門教育大学と
も連携し、各種イベントを実施してまいりました。また、徳島大学や阿南高専
とは、防災に係る連携協定を結んでいますので、いつでも交流人口の増加につ
ながるイベントを行うことは可能です。しかしながら、イベントは継続性が必
要ですし、やはり行政主導で行う場合は、職員の増員も必要です。また、本来
防災は、自助が第一です。自分達の避難する場所は自分達で守るという自助意
識を高めるためにも、町内の自主防災組織が施設の維持管理を行い、必要であ
れば定期的に何らかのイベントを行う、その中で、役場に対するご要望があれ
ば、ご提案いただきたいと思います。つぎにおひさまスクールの今後の展開で
すが、アンケートの結果、多くの児童が利用したいとのご希望をいただしてい

ます。したがって、子育てを支援するだけでなく、少子化対策として、また、過疎化対策としても施設の事業の拡大に向け、前向きに進めてまいりたいと考えています。

杣富議長 久岡住民福祉課長。

久岡住民福祉課長 私から町営住宅の使用料金の徴収率の低下、また、未納額の増加についての原因と、最後、町長からもありましたが、おひさまスクールのアンケート内容について、補足で説明させていただきます。まず町営住宅の使用料金の徴収率の低下、また、未納額の増加の要因として、平成26年度において、事務量の増の中、徴収回数を減らしてしまったこと。また、その結果、徴収に繋がる訪問回数も減っていたこと。これが第1の要因であります。情勢的には、私は平成26年4月から住民福祉課の方にまいっていますが、生活保護の相談件数が10件を超えているような状況で、私個人であります、町全体的に厳しくなっていると強く感じていたこと、そんな中、生活保護であった世帯において、保護を解除され、これは良い意味で解除された分ではありません。そういう件数が2件ほどあり、それも未納件数の増加につながってしまったこと。こういったことが要因の一つにもなっていると考えています。この結果を重く受け止め、本年度27年度、課の体制を強化し、減っていた徴収のための訪問、夜間を含めて増加させ、26年度末、86.83%に低下していた徴収率を現在のところ90.53%にまで挽回しており、厳しい意見をちょうだいした監査委員さんからも先日の監査において、一定の評価を得ています。今後ですが、土日も含めた徴収回数の増加、また、電話等での接触機会を約束して出向く等の機会を多くし、使用料徴収要領等、マニュアル化したものを作成し、徴収率のアップ、未納者数の減少に取り組んでまいりたいと思っています。続きまして、おひさまスクールのアンケート内容についてです。アンケートとして、未修学のお子さんのいらっしゃる家庭、保育園に通うお子さんを持つ家庭、現在、小学5年生までのお子さんを持つ家庭に実施いたしています。

ここでは目の前の問題として、小学生のお子さんをお持ちの家庭のアンケート結果と今後の展開をどう考えていくべきか説明させていただきます。小学生のうち、お子さんを小学校低学年、1年から3年、今、おひさまスクールで対応しているご家庭につきましては、放課後どのような場所で過ごさせたいかという問いに対しまして、自宅で32.6%、お爺ちゃん、お婆ちゃんや友達・知人宅というのが、15.4%、おひさまスクールに行かせたいというのが26.9%、他に習い事ということで、15.4%、その他が8.6%になります。これが4、5、6、高学年になりますと、おひさまスクールへの希望は13.6%と少々減少いたします。また、夏休み、冬休み等の長期休暇に関しては、おひさまスクール低学年は31.3%に対し、4、5、6年になりますと、18.9%という結果があります。ここで約20%弱の要望がありまして、3年生から5年生、合計71名います。単純計算ですが、最大14名程度おひさまスクールに通うお子様がいると想定されます。このような結果を受け、子ども・子育て支援制度の5か年計画の中でも小学校6年生までの拡充というのは示されているところです。体制を整えることにより、28年度から拡充を目指したいと考えています。また、補助事業にのせるべく、また、のらないでも、結局、10数名高学年で増えることにより、どうしても見る職員がもう一人必要になってまいります。それと、現状の課題としては、現実、今、職員がマンツーマンで対応しているお子さんが1名いる中、体制の強化が必須であります。今後、場所の移転等の課題も出てまいります。その人数に対して安全で見守れる職員を確保するという体制づくりを今後行って、体制を整えば、来年から6年生までの拡充したおひさまスクールをスタートさせたいと考えています。

枅富議長 仁田総務課長。

仁田総務課長 それでは、堀内議員の質問で、町長の答弁を補足させていただきます。まず阿南高専との連携協力協定に基づく共同研究の天体望遠鏡のことですが、天体望遠鏡の性能、価格設定については、阿南高専の方にお任せして

いるというところが現実でして、阿南高専に確認したところ、天体望遠鏡の価格につきましては、今、売られているドイツやアメリカの方では同等の製品が30万円から40万円程度しているということです。これは完全な受注生産のため、価格は比較的高い上、海外製品なので、日本製ほど品質は良くないと思いますということでした。それと、堀内議員がご指摘ありました、株式会社ケンコー・トキナーの製品ですが、これは中国での大量生産という形で作られていまして、価格は安いものですが、製品の性能自体もそれほどでなく、組み立てるとそのままという形でコンパクトの形にならないという製品だそうです。今、この共同研究で開発中の天体望遠鏡ですが、これは国内で生産というのを主眼においていまして、手軽に持ち運べて解体もできるということで、アウトレジャー向けの開発ということを目指しています。そういうことで、議員ご指摘の株式会社ケンコー・トキナーの製品より目標価格というのは、比較的高いものになるというお話しでした。それと、もう一点、議員ご質問の防災・減災の意識強化と津波避難先の状況確認、整備をというお話しで、津波避難場所に至る避難路の整備についてのご質問でした。基本的には、その地域の方が使われる避難路ですので、地域の方で管理していただくというのが基本ですが、地域によっては、高齢者が多くて人手が足りないという問題もありますので、こちらの方で気の付いたところについては、町の職員がときどき整備に回っているところもあります。ただ、町内会でも定期的に整備していただいているところもありますので、今後もその地域と協議しながら進めていきたいと思ひますし、指摘のあったような町外の団体でどういうふうな取り組みができるかということについても、検討をしていきたいと思っています。それと、防災に関する外部の団体との連携事業で最近の取り組みの事例を幾つか紹介しますと、昨年1月には西浦地区の自主防災組織が学生のボランティア団体であります、鳴門教育大学の学生とか、町外の自主防災組織などに参加をしてもらって、避難路ウォーキングという事業を開催しています。それと、牟岐小学校の6年生と中学校の生徒会役員、また、町内の婦人会の民生員、自主防災組織、並びに町外からは防災スペシャリストという方にご参加いただきまして、防災キャンプ

というのを開いています。昨年の１０月、今年も１０月に開いたのですが、昨年は少年自然の家で、今年は牟岐中学校で開催しました。今年の防災キャンプには、宮城県女川町の女川小学校から校長先生と教諭１名にきていただいて、子どもさんを対象に防災学習というのを開いていただきました。また、今年に入って７月と１１月には、予算の関係の提案をさせていただいたと思うのですが、スポーツレスキュー２０１５ということで、バートという団体のバイクによる緊急物資輸送の訓練を牟岐少年自然の家をゴールとして開催させていただきました。そういうようなことで、若干事例の紹介という形でお答えをさせていただきました。

杣富議長 堀内議員。

堀内議員 公平、公正なサービス、また、経済効果については、町長のおっしゃるとおりだと思います。民間の方が力を出していくべきだと思うのですが、町から補助が出ている点は、監視、監査と言うか、どのように進んでいっているかというのを話し合ってくださいまして、知恵を出し合ってくださいの方が、かなり良いと思いますので、できるだけ商工会とか、そこらと話し合いというのは、できるだけ進めていただけたらと思います。先に阿南高専さんとの共同開発の件なのですが、確かにケンコー・トキナーさんが中国産で望遠鏡の知識がある人からしたら、そんなに制度が高いものではないという認識はあると思うのですが、阿南高専さんが進めているプロジェクトでスターパーティ、ゆくゆくは牟岐町の空を望遠鏡で見ながら、ヨーロッパや海外西アメリカの方とかでよく開かれているようなイベントをしながら交流人口を増やして、なおかつ販売は、できたら世界に販売していきたいというふうに聞いています。ただ、そうなってきますと、望遠鏡の知識がある専門の方が対象でなく、今まで星が好きだけど、そういうことをしていないと、いっぱいのお客さんを取り込んで交流人口を深めていきたいなという点においては、一般の方が機能・スペックだけ、機能、性能だけ見たときには、１２０千円で買えるのだったら、そ

っちを買うのではないかというのが、おそらく一般の多い意見だと思います。

まず販売対象であったり、イベントのターゲットの総利用というのを市場調査、価格調査というのを阿南高専さんに任せっきりということだと思えるのですが、これも補助金を出している以上、共同で開発している以上、これもシビアに見ていただけないかと思います。せっかく完成しても需要がなかったりとか、若しくは、もっと安いのがあったりとか、いろいろ悪い口コミが広まっても、もったいないと思います。いましている事業自体は、町長も先ほどおっしゃったように、牟岐町は星空の観測では、かなりそういうのが好きな方からは有名なところですので、どんどん進めていっていただいたら、新しい観光事業になると思うのですが、やはりマーケティング市場調査、価格調査がしっかりしていないと、せっかく素晴らしいイベントや試みの成果の方も悪く出てしまうというのは、かなり大きくあると思いますので、そこら辺は、この前も県の方で発表、阿南高専がしていたのですが、折りたたんで持ち運べて、価格200千円前後と言ったら問題はないように聞こえるのですが、それだけ聞いて、例えば、インターネットで30cmの口径を調べたら、120千円が出てくるとなってきたら、お客さんは単価でどちらを選ぶかというのは、少し疑問に残りますので、補助を出したり、共同開発している点に多いと監視までいきませんが、話し合いをとって改善するところは改善していくというふうに進めていただきたいと考えます。

つぎに町営住宅の徴収率についてなのですが、基本的には、私は徴収率は100%を目指すべきだと思います。前年度より上げるということも大事ですが、基本的には100%の徴収を目指していただいて、落としていただくということなのですが、それと同時に内容が分からないところもあるのですが、あまりにも何年も払っていらっやらない方であったりとか、取りようによったら悪質に取れるような方のその方の徴収に対して、町の職員の方が残業であったりとか、そういうのをするということは、果してこれを続けていて良いのかということも疑問に思います。残業手当もつきますし、本当は払ってくれたら一番良いのですが、もちろん、努力はしていただきたいと思うのですがあまりずっとある程度の水準から上がらないようでしたら、私は法

的処置も考えてもいいのではないかなというふうに考えます。現に徳島県、他町村でも行われているところはあると思いますので、そこは視野に入れていただいてもいいかと、努力をしていただいても100%近づかないのでしたら、問題は常に残っていくというのは、それはまた職員の方の負担になるかと思うますので、そこは法的処置も考えていただきたいと考えます。おひさまスクールのアンケートなのですが、私が思ったよりかは、おひさまスクールの希望される方が少ないという認識です。アンケートを踏まえて保護者の方にも今後のおひさまスクールがどうなっていくかというのを分かりやすく説明して挙げて欲しいと思います。毎年、毎年変わるというのが一つの認識であるということ。説明をしていただいていると思うのですが、来年は続くのかなというのは、そういう認識もある方も多いですし、保護者の方にもアンケート結果も踏まえて、人員が増加したらお金もかかりますので、難しい場合は難しいなりにきちんと説明していただければ、納得できると思いますので、アンケートについても少しアンケートの内容も分かりにくいという声もありました。どの業種もそうなのですが、専門家の方と一般の知識がない方に対したら、そのの誤差が絶対に出てくるとは思いますけど、おひさまスクールに関しては、おひさまスクールだけではないですけど、せっきくアンケートを取って、いろんな改善点が出てくるというのでしたら、それはアンケートを取った上で、こういうふうに改善していくというのを保護者の方にきちんと説明していただければ、安心していただけるかと思います。最後に防災、減災についても仁田総務課長のおっしゃるとおりだと思います。その地区、その地区で管理するのがもちろん本来であるのですが、実際にできていないところはあるのです。高齢化もそうですし、進んでやる人が多いところと、その差もあるのかも知れないけど、実際に草が生えている。おそらく夜歩いたらつまづくかなというところもあります。1箇所は、商工会青年部の活動で草刈りをいろいろしたのですが、なかなか行政の方もそうなのですが、全部を把握というのは難しいとは思っています。高齢化が進んでいった中、その安全性を維持していくというのも少し通常より難しくなってくるかなと思います。今、全国的に先ほど言いました、ゴミ拾

い連盟であったり、グリーンバードであったり、学生団体とかで草刈りとかゴミ拾いをスポーツにして楽しもうというような、そういうおもしろい流れもきていますので、そういう団体と交流することによって、ゆくゆくは地域の町内会の方達から、そういう楽しみながらそういう避難路とか草刈りとかというのを続けていこうというような知恵が出てきたのかと思いますので、そこら辺も考えていただけたらと思います。

枅富議長 再問ではないのですか。

堀内議員 聞き忘れていました。商工会と話し合う予定とか、今のところあるのかどうかというのが一つ教えていただきたいのと、町営住宅の件なのですが、100%目指していただきたいので、一番問題点というのはどこなのかというのが一つあります。行って会えないのか、連絡がつかないのか、どういう状態で徴収できないのかということで、回数を増やしたら、ある程度、回収率は上がっていくのかというのも教えていただきたいのと、おひさまスクールのアンケートの内容について、先ほども申し上げましたように分かりにくいという点がありますので、今までそういう分かりにくいという声がなかったのかどうか、質問の仕方がおかしいのですが、例えば、保育園の仕組みにしてもチラシとかいただくのですが、分かりにくいという点がありますので、そこら辺が、少し的外れの質問ですいません。申しわけないですけど、以上で商工会との今後の話し合いの予定があるのかどうか、町営住宅の徴収率の一番の原因、これが主に2つ再問させていただきます。

枅富議長 福井町長。

福井町長 再問をいただきました。出羽島のアート展に関する商工会との話し合いの場をとということでよろしいですね。これは町の方としても非常に大きなイベントとして、入場者数も当初は1万人も超えるほどの入場者だったという

ことで、非常に期待しているところですので、できるだけ打ち合わせをして経済効果があるようにいきたいということで、もちろん、臨むところで構えていますので、逆によりしくお願いしたいと思っているのですが、商工会さんの方も忙しそうで、なかなか時間が取れないというところもあるのです。調整をしながら進めたいと思います。それと、阿南高専の天体望遠鏡ですけど、これは議員が言われるとおり、確かに阿南高専に一任すべきではないということかも知れません。役場として専門家もいないということで、あちらさんの方は専門的な知識をお持ちなので、一任している状況でしたが、できるだけこちらも補助金も出していることもありますので、その商品の価値と言いますか、販売の可能性も当然こちらも掴む努力は必要だと考えていますので、今後、やってまいりたいと思います。それと、町営住宅の徴収率100%ということですけど、これは県も町も同じですけど、非常に家賃の徴収するのは難しいということです。さらに県の方は何か月か払っていただけない場合は、簡易裁判にかけて出ていってもらうというようなこともやられているようですが、町の方はそこまでなかなかできないのです。県は、まだ県営住宅からはみ出したら町営があるだろうということで、町営の方を期待できるのですが、町の方はさらに下が期待できないので、家賃が払えないから出て行って欲しいというのは、すぐさまはなかなかやれない、措置ができないということで、今のような状況になっていると考えています。それと、防災、減災のイベントですけど、これもイベントをやるとなると、町職員が非常に手間と時間をかけて対応をしています。冒頭に申しましたように、今、3つの大きな事業を抱えていますので、その手間を割けない中でサマースクールですとか、重伝建の選定作業を進めていますので、本当に超過勤務が多くなっているような状況ですので、そういうことも加味しながら、できる限りの範囲でやらせていただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

杣富議長 久岡住民福祉課長。

久岡住民福祉課長 それでは、まず町営住宅の100%を目指すという考えなのですが、私も目指したいのはやまやまです。どうしても今のところ長期的に滞納になっているところも数件ありますが、担当課としては訪問時間、例えば、7時半に行っても会えない場合は8時半に行ってみるとか、家に電話して、いついついらっしゃいますかということで、接触機会を設けて努力しているところです。この何%まで伸びていくか、その状況によって、先ほど言われていました、最終的に法的処置というのを検討になってくるのかと考えます。それと、おひさまスクール、アンケートを出す前になるべく分かりやすく心がけたのですが、これまで一年、一年どうなるか分からないという状況だったので、保護者の皆さまは、不安に思っていたと思うのです。ただ、子ども子育て支援、新たに制度が始まりまして、6年生までの拡張も含めて、これが体制を整えて制度にのれば国費もついてくることになります。そうしたら、また、事業としては継続していけるということになってまいりますので、ぜひ体制を整えて国費をもらうような事業にしていきたいと思います。

枅富議長 堀内議員。

堀内議員 ありがとうございます。町が補助したりしている事業に関しては、引き続き監査まではいかないですけど、確認を取りながら進めていただきたいと思います。先ほどの望遠鏡のことについては、インターネットで5分か10分検索したら出てくる内容ですので、そこら辺をお願いしたいと。おひさまスクールについては、引き続き分かりやすいように出していただきたいと思います。のと、町営住宅の方に関しては、先ほど町長のおっしゃったとおりですけど、最後の受け皿ということになってきますが、だからといって、公平、公正な悪質なのを放っていくというわけにはいきませんので、最終的には法的処置を取りかねないというような姿勢というか、こちらのカードとして持っておいて、徴収率を上げていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。以上で質問を終わらせていただきます。